

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初より地域との関わり合いを大切にしており当事業所の理念の中にすでに取り組まれている	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	行っているが職員の流動もあるためその都度行うようにしている	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	二ヶ月に一度の推進会議を行い、ほっこり庵での出来事などをお話させていただいたり、また説明だけではなく、ほっこり庵たより(1ヶ月に一度発行)をみて頂いている。	○ 地域運営推進会議のメンバーが固定しているため、今後は町内会や商店街の人がもっと参加して理念に浸透していくよう取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ご近所の方々への挨拶などは必ずするよう、職員には指導している。またほっこり庵で行われる行事には、声をかけさせて頂いたり、ビラをくばらせて頂いたりしている。	○ 行事に限らず今以上に気軽に立ち寄って積極的にアプローチしていきたい
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地蔵盆のお手伝い、地蔵盆、ボーリング大会、商店街のお祭り、運動会、非難訓練、商店街の掃除、葵祭のお手伝いなど声をかけてきて下さった事にはできる限り参加し交流させて頂いている	○ 地域の行事には数多く参加させて頂いているので今後も継続してさらにお付き合いの輪を広げていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今年度10月にサポートリーダー養成研修が行われる。	○	地域包括支援センターとも交流を更に深め活動していきたいと考えている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価により自己の問題点を客観的に促えることができるようになった。課題に関しても少しずつではあるが改善に向け取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告し意見などして頂ける時間を設け行っている。意見して頂いた事は運営会議などで報告し職員全員に意識付けできるよう行っている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今年度10月にサポートリーダー養成研修が行われる。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人内の全体研修で地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について 講師を招き職員は研修を受けたが、現在 それらについてはご家族などから相談はない		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	運営会議で資料を配布し虐待についてお話をする	○	今年度の新入社員にはまだ配布されていないので資料を収集しお話できるよう行いたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は契約書を元に説明させて頂き、理解納得して頂ける迄、お話をさせて頂いている。また 不明な点などがあれば随時お答えさせて頂ける事もご説明させて頂いている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居様からのご要望苦情などは、職員全員が把握できるよう、朝の申し送りや適宜申し送り、スタッフルームに掲示し早期解決できるようつとめている。また施設長や管理者には必ず報告するようしている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ほっこり会(家族会)はじめ、日々の様子は面会時にはなさせて頂いたり何かあればすぐに電話をさせていただき報告し、また職員の移動も含めほっこり庵たよりを1ヶ月に一度発行させて頂いている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情ポストの設置並びに苦情窓口の掲示として情報提供票に記載されており、ご説明させて頂いている。苦情が発生した場合は施設長はじめ管理者ともに苦情の早期解決につとめ、運営会議で報告し再発防止している。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営会議、朝の申し送りなど体制をとっている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>昼食前・夕食前・就寝前など重点的に入居者様が安心して安全に過ごせるよう勤務配置を考慮し実行している。また適宜受診等の予定が入った場合も勤務変更など行い対応している</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は極力さけているが、異動が発生した時は、混乱などおきかないよう最小の人数にて対応している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
して				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階については主に管理者が決め必要に応じて積極的に研修参加、法人内でも2ヶ月に一度の全体研修に加え、1ヶ月に一度法人内で講師を決め、ピュア勉強会として勉強会がおこなわれている。	○	研修受講者が報告する機会を増やしていかなければいけない。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度10月にサポートリーダー養成研修が行われる。又法人内の勉強会ははじめ全体研修の案内などおこなっている。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個人面談を設けている。また親睦会など年に数回設け役職関係なく何でも話せる関係に作りにつとめている。又希望休や連休もとりやすいよう配慮している。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に2回自己評価をしており、各人目標などたてその目標達成に向け助言などしている。また得意分野で活動する事により自信をもち仕事できるよう行っている		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居時、ご本人様から直接ご意見を聞いたり、選択しやすい簡単な質問形式にて行っている。	○	開所時よりアセスメント表が変更無く行っているが、今までの経験も含め変更等見直しをしなければいけないと考えている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	時間に追われる事なく時間を充分にとり行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要なサービスを検討し各関係者を含めお話し合いができるようつとめている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	安心して過ごしていただける為にも居室に置く家具を馴染みの物にしたり、生活歴などを事前に調べることで、これまでと変わらない生活をしてもらえるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	当事業所が最も力を入れている部分の1つ。全職員に気を配ってもらっている。介護する側される側ではなく一人一人としての関係づくりを行っている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	イベントに参加してもらったり、家族会を開いたりしながら、一緒にケアについて考えてもらっている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの関係の理解はもちろん、これからの関係についても、現在の本人の状態を理解してもらいながら支援している。家族と職員の信頼関係も大切におこなっている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで行きつけの美容院、スーパー、病院等には継続して通っている。また年賀状なども継続して出している。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様同士の関係を把握した上で、会話や作業やレクリエーションなど一緒に行えるような環境作り、声かけなど配慮している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後、ご家族様が立ち寄ってくださったり年賀状をだし合ったりなどお付き合いが継続しているところもある。	○	行事などある時に案内を送付するなどおこなってみたい
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常にその人に問いかけるようにしている。それが困難な場合は、本人本位に検討すると共に、家族にも聞いている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご本人・ご家族を含めアセスメント表に基づきアセスメントととったり、入居後も引き出し療法を行いながら生活歴を聞いたりなどし、記録していつている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活記録・ケアプラン等の情報の共有にて把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画作成担当者と各人の担当者・家族の意向なども聞き入れ作成し、作成後カンファレンス会議で再度職員とも情報交換して作成をしている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	行えている方と行えてない方がある。	○	急変後や薬の変更の方などに関して今後は計画の方にも記録していけるようつとめたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活記録は出来事だけではなく表情や言動もふまえて記録するよう行い又職員が思った事なども記録できるようになっており、介護計画に反映できるようになっている	○	全職員ができて無いため再度運営会議で申し送りをし記入する意義なども説明していかなければいけない。
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	職員数の確保などにもして柔軟に対応できるようおこなっている。又 面会・外出・外泊に時間に規定はなくご家族も一緒にお食事をして頂いたり、空き部屋はSSに利用して頂いたりおこなっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防訓練は行っている。またフラワーアレンジメントレッスンも受けている。	○	地域・ご家族・本人より希望があれば、取り組んでいきたいとかがえている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今のところ、そのような要望は無いが、今後あれば検討していきたい。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	していない。	○	今後本人の意向や必要性があれば検討し、実行できるようにしていきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は希望に沿うよう行っている。現在は家族の希望により当法人の往診のみとなっているが、以前は定期的に受診にいかれる方や当法人以外のかかりつけ医が往診にこられていた。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録はイニシャルで記入。本人の望まない話はしない。実習生にも守秘義務を徹底している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定は基本。思いや希望を表せるように声かけも行っている。また自己決定が困難な場合は今までの生活暦を重視しご家族にも相談し支援している。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	やりたいこと、行きたい所など聞きながら支援している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人やご家族からの希望を聞き、支援を行っている。また髭そりやヘアセットなど個々の必要に応じ行っている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々に合わせた食器を選択し使用。食事療法必要な方に対しても対応し、咀嚼食材や嚥下しにくいものなど個々のレベル合わせ 刻む食材の大きさなども配慮している。味覚、みた感じも大切にする事を重視している。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の好みを細やかに把握し、配膳している。喫煙者の方もおられるが、御家族・主治医とも相談した上で喫煙して頂いている。禁酒もされてなく希望者がいれば飲酒していただける。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	夜間のみりハビリパンツ使用など極力布パンツで対応、排泄のタイミングやシグナルの把握に努めている。その時の状態にもあわせ使う用具も検討し配慮している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人からの希望を優先して入浴して頂いている。2～3日に一度は入浴できる様声掛けをさせて頂いている。又失便等などあった場合は適宜入浴して頂けるよう対応している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	睡眠チェック表を記入し申し送りに留意して日中の様子をいながら就寝介助を行っている。就寝時間は個々の意志を尊重する。自室の温度調節など温度計をみておこなう	○	シーツ交換や布団干しをこまめに行うようしていく必要がある
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌が好きな方テレビが好きな方新聞を読んだり、一人で過ごすのが好きな方もおられるので個々の意志を尊重して対応している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時にご家族と管理の仕方を話し合い、金銭管理帳を設けている。個人で財布を持っている方もおり、外出時に職員と一緒に買い物をする。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	極力、機会を設け、希望を聞き、散歩やドライブに行っているが、毎日とはできていない。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お花見、五山の送り火など季節ごとにイベントを設け、ご家族にも参加してもらいながら行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自室に電話を置いている方もおり、ご家族さんとも話されている。また、届いた手紙も本人に渡している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間に規制はなく、ご家族さんも馴染みの人達も好きな時間に来庵され、本人と一緒に過ごして頂いている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当法人の勉強会にて職員が参加し周知・徹底している	○	出席できていない職員への申し送りをする機会をつくる
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中門扉はあけ 玄関の施錠はしていない。また自室には鍵はつけていない。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	配慮している。夜間も2時間ごと巡回している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	しているが、危険度の高い(過去に危険にさらされた)物に関しては回収させてもらい、ご家族にも説明している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止対策委員あり。又事故対応マニュアルあり。また変化のあった人は、都度申し送りをして身体面・精神面など考慮し環境整備などにもつとめ事故防止につとめている。職員の半数が普通救命講習を修了している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	今年度5月に当法人内の全体研修として普通救命講習を消防署にきて頂き 職員半数以上が修了している。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害マニュアルあり。年に2回は避難訓練を消防署の方にもきて頂きおこなったりして。又 職員の緊急連絡網があり、緊急時に備え練習などもおこなっている。今年度は自主防火管理の表彰を消防署よりされた。	○	夜間の練習、地域の協力。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ケアプランの説明時や変化のあった時は適宜ご家族に連絡し説明をおこなって対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々のご様子の把握につとめ、少しでも変化のあった時はバイタル測定などし施設長(看護師)に報告し指示を仰いでいただいている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬されているお薬の内容が把握できるよう個別にリストをファイルし、また新しい薬が処方された時は、必ず経緯や内容を含め記録化し申し送りを1週間程口頭で行うようしている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	身体を動かす働きかけが少ない。今後の課題。	○	薬に頼ることが多い為、もっと食事や運動にて対応していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後はできていないが就寝前は必ず行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量については全員、水分量に関しては注意が必要な方に関して記録を取っている。</p>	
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>出勤時、職員は手洗いうがいをを行うよう指導し実施している。感染症マニュアルあり。勉強会なども行っている。季節毎に流行る感染症についてその都度運営会議で注意を呼びかけている。</p>	
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>調理に関するマニュアルあり。感染予防委員会もある。布巾や三角コーナーは毎晩次亜塩素酸系にて消毒を行っている。また、調理者が直接食物にふれる時はエホンス手袋を都度着用している。また体調不良者は調理しないよう徹底している。食器については乾燥機を使用している。</p>	
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>日中は門扉・玄関は施錠せず行っている。季節の花を玄関先に都度おこない、また冬はイルミネーションなどおこなっている。</p>	
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の草木を使い生け花をしお部屋の中に取り組みんだり入居者様と月毎にオブジェを一緒に作ったり季節感を感じ取れるよう配慮してる。手摺などはふんだんに使い、家具なども含め、自らの力を発揮でき安全に歩行できるよう、配慮している。また台所は低めに設置し使用しやすよう配慮している。</p>	
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファの配置や、一人になれたり、団欒できる場所を確保している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室の物は全て持ち込みで行って、相談と状態をみながら配置を考慮している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各自室・共通の間に湿度計並びに温度計を設置 夏は27～28度・冬は26～28度を目安に温度調整をしている。	○	共有の間の空調について直接風が当たらないよう現在風除けを購入検討中 又喚起についても建築事務所と相談しながら検討している。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	皆が過ごしやすようにつとめている。自室についても各人が安全に安心して過ごせよう、その時その時検討し配慮している。(センサーチャイムの導入・手摺の導入・家具の配置・ベットの導入など)	○	家族とも相談しながらセンサーチャイムの導入・手摺の導入・家具の配置・ベットの導入・外出用靴の検討・車椅子の導入などし更に安心して安全にすごせるよう行っていく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の力を発揮できるようケアプランをはじめ、定期の運営会議では必ず各人の申し送りをして現在の状態を職員全員が把握できるよう行っている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節の草木や洗濯物が干しやすいよう配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

京都府：グループホームほっこり庵

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)